

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立味原小	学校	児童数	63
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	14.97	19.27	30.14	39.65	41.74	10.33	135.59	17.90	49.05
女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	14.95	18.80	32.86	37.90	27.89	10.74	132.52	11.50	48.53

結果の概要

男子は8種目すべてにおいて、大阪市、全国を上回ることができた。また、女子は上体起こしを除く7種目で大阪市、全国を上回る結果となった。特に、20mシャトルランでは6～9回、50m走では1秒の開き全国とあり、体力向上や計画的な体力テストへの取り組みなどが結果につながったと考える。また、年2回の体力テストの実施により、春から秋に向けて個人的にスポーツテストに向けての練習や課題の改善に取り組んだことも結果の向上につながったと考える。男女とも、上体起こし（腹筋）、長座体前屈（柔軟性）、反復横跳び（俊敏性）において、大阪市や全国の結果と近づいてきており、今後新たな取組を考える必要がある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、体力向上の取り組みとしてかけ足週間やなわとび週間を設けたり、運動やスポーツに関心を持たせるために、休み時間に玉入れや台風の目、サーキット遊びなどに取り組んできた。また、体力テスト前には、それぞれの種目の練習をブースごとに分かれて休み時間に行ったり、昨年度の数値を確認して今年度の目標を立てたりするなど計画的に取り組んできた。しかし、今年度の体力合計点の結果や「運動やスポーツをすることは好きか」の質問項目においては、肯定的な割合は低く、総運動時間についても、全国や大阪市の結果と大きな隔たりがあった。今後においては、すぐの方針転換を行うのではなく、長期的な計画で、児童の意識改革を図るため、現在行っている取組を継続するとともに、特に差がなくなってきた長座体前屈では、柔軟性に課題があることから、体育科の授業において、丁寧な柔軟体操を毎回行い、向上に繋げていきたい。また、上体起こしや反復横跳びは、何度か実践練習を重ねるなどしたい。